

プロジェクトリーダー: 南山大学 総合政策学部 石川良文教授

事業実績調書

(1) プロジェクト名	瀬戸市居住促進のための地域の魅力収集と情報発信
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	<p>①大学生に魅力発信を行う情報冊子の作成、配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 瀬戸の魅力伝える冊子を5,000冊配布した。名古屋市内の大学周辺駅での配布、瀬戸市内の店舗での設置により、多くの方に瀬戸市の魅力を発信できた。冊子の配布後に実施したアンケートで、「冊子を見て瀬戸市に訪れたいか」という設問に対し「とても思った、少し思った」の回答が全体の88%という結果となった。この結果から、冊子による情報発信は効果があったと考えられる。 <p>②SNSによる魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 瀬戸市の魅力的なスポットを伝えるため、136日間毎日Instagramへの投稿を行った。フォロワー数は234人、1日平均の「いいね」の数は69、136日間で9,374であった (2018年1月31日現在)。瀬戸市の魅力について広く発信することができ、また、Facebookによって活動状況を発信したことで、冊子配布予定についても広報することができた。 <p>③ホームページによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツの充実により、合計5,199回のアクセス数を記録した (2018年2月15日現在)。昨年度の企画実施の総アクセス2,015回 (2016年12月31日) から3,127回増加した。 <p>④瀬戸市の魅力とプロジェクト全体のPRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋市栄のイベントに出展し、77名がブースに来場した。冊子やInstagramアカウントの宣伝チラシをファイルに入れて配布したことによって、多くの方に活動を宣することができた。また、学生フリーペーパーREAL 2017 Vol.057 で冊子の掲載内容の宣伝を行った。駅、大学で約50,000部配布されているフリーペーパーに掲載されることで、大学生に広く瀬戸市をPRできたと考えられる。 <p>⑤大学生とツクリテに対する瀬戸市の意識調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ツクリテ29名に活動しやすい街に関する調査、大学生391名に魅力的な街に関する調査を実施した。調査結果については、今後、瀬戸市が実施する政策、発信の資料として提供する。
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	<p>本プロジェクトでは、①「大学生へ魅力発信を行う情報冊子の作成、配布」、②「SNSによる魅力発信」、③「ホームページによる情報発信」、④「瀬戸市の魅力とプロジェクト全体のPRの実施」、⑤「大学生とツクリテに対する瀬戸市の意識調査」を行った。</p> <p>①大学生へ魅力発信を行う情報冊子の作成、配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生等の若者をターゲットにした冊子「せとぶら」を5,000部作成した。 <p>冊子の企画から発行までを以下のプロセスで進めた。まず、10代後半から20代前半の若者が興味を持つと考えられる場所を検討し、その情報収集を行った。掲載内容は、コース別や体験スポット別などをまとめ、写真、店舗情報を掲載すること、QRコードを読み取り、Google mapにリンクを繋げることで、アクセス法を容易に調べられるように工夫した。また、魅力的な店舗や主要スポットをリストアップし、7月末から実際に訪問し、協力依頼、写真撮影を行った。8月初旬から原稿作成を行い、11月中旬から冊子の原稿を協力者、協力店舗に確認を行った後、12月中旬に発行し、店舗への設置を行い、1月初旬から名古屋市内の駅での配布を行った。</p>

②SNSによる魅力発信

- ・Instagramアカウント名「せとさんぽ」として瀬戸市の魅力を伝えた。
Instagramでは、2017年9月18日から1日1投稿を実施し、2018年1月31日現在で133投稿をした。若者が多く利用する瀬戸市内の飲食店、工房、風景などの写真を掲載して発信することによって、瀬戸市に興味を持つきっかけづくりをした。
- ・Facebookアカウント名「Stand せととup」
Facebookでは、活動の報告、冊子配布計画の宣伝を行うことで、ゼミの活動の周知を図った。

③ホームページによる情報発信

- ・ホームページ名「知ってせと、住んで瀬戸。」 URL <https://www.standsetup16.com/>
昨年度に作成したホームページのリニューアルを行った。情報の訂正、ゼミ生が冊子の掲載店舗を訪れた感想を掲載した。冊子作成のための取材、確認を行った7月下旬から11月下旬に店舗で写真撮影を行った。1月中旬から掲載作業を行った後、店舗に確認を行い、随時公開した。

④瀬戸市の魅力とプロジェクト全体のPRの実施

- ・イベント名「第63回名古屋まつりNAGOYA学生キャンパス『ナゴ校』企画」2017年10月22日（土）久屋大通公園もちの木広場にて開催。
イベントでは、ツクリテ紹介ブース、歴代のゼミ活動の紹介ブース、今年度ゼミ活動の紹介ブース、将棋対戦ブースを実施した。ゼミの活動の宣伝として、チラシを入れたファイルを配布した。
- ・フリーペーパー名「学生フリーペーパーREAL」2017年12月15日発刊
フリーペーパー内で、ゼミで作成した冊子、ホームページ、Instagramの紹介が掲載された。

⑤大学生とツクリテに対する瀬戸市の意識調査

- ・ツクリテ対象聞き取り調査
9月下旬から質問事項の作成を行い、10月下旬に店舗や工房で面接調査を実施した。
- ・大学生が考える魅力的な街に関する調査
9月中旬から質問事項の作成を行い、10月下旬に南山大学総合政策学部総合政策学科の学生にアンケートを実施した。

(4) プロジェクトの今後の課題と展望

- ・情報発信を継続的に実施する必要がある。
- ・イベントの主催、イベントの参加頻度を増やす必要がある。

参考資料 (写真)



プロジェクト詳細検討会議



岐阜大学とのプロジェクト意見交換会



名古屋まつりの様子 (1)



名古屋まつりの様子 (2)



冊子用の写真撮影の様子



「せとぶら」完成後の様子